



三高進路 NEWS



三刀屋高校 進路指導部

2025/11/19 第7号



～CDP(キャリアデザインプログラム)③を終えて～

11月6日(木)、2年生は8つの希望コースに分かれ、学校訪問・企業訪問を行いました。また、見学後はアスパルで学校・企業説明会に参加しました。それぞれの振り返り、感想を紹介します。

文系大学コース A(島根県立大学松江キャンパス、日本銀行松江支店)

文系大学コース B(島根県立大学松江キャンパス、松江地方・家庭裁判所)

文系大学コース A・B「地域文化」「保育教育」のうち希望する模擬授業を聞いた後、希望により「日本銀行」「松江地方・家庭裁判所」を訪問しました。



【地域文化】(感想)

・講義は、はじめは難しそうだなと思ったけど話を聞いているうちに、自分も日常生活で気になっていることについての話で、とても興味深かったです。
・大学で一つの分野を細かく探求していくことがわかりました。

【保育教育】(感想)

・具体的なキャンパスの雰囲気を知ることができたし、勉強へのモチベーションも上がりました。
・同じ教育学部でも取ることのできる資格や実習が異なり、しっかり確認をしておくことが重要だと学んだ。

【日本銀行松江支店】

現在のお札には、偽造を防ぐための最新技術が数多く施されていることに驚きの声が多数ありました。また、目が不自由な人への工夫など、銀行券に施された配慮についても学ぶことができました。



【松江地方・家庭裁判所】

裁判所では、テレビドラマなどで見る法廷の雰囲気だけでなく、そこで働く人々の仕事や裁判所の仕組みについて深く知ることができました。裁判所には裁判官や弁護士以外にも、たくさんの職業の人が働いて、裁判を支えていることが最大の発見でした。特に、家庭裁判所調査官など、法律の専門知識がなくても、研修や試験を経て就ける仕事をあることを知って驚いたという感想がありました。



何れの見学先でも普段の生活では知ることのできない社会の仕組みやそこで働く人々の役割について学ぶ、非常に貴重で有意義な時間を過ごしてくれたようです。

文系大学コース C(島根県立大学浜田キャンパス)

文系大学コース C は浜田キャンパスを訪問しました。昼食時には学生食堂も使用させてもらい、食堂での体験を通じて大学生活を身近に感じ、また図書館など自習スペースの充実した施設を見学したことで普段の学生生活をイメージしていた生徒もいるようです。

模擬授業は「国際関係」と「地域経済」に分かれて実施していただきました。



<p>【国際関係】(感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローカル(グローバル+ローカル)な視点で物事を考える力がつく学部だなと思いました。 ・自分の学びたい分野をゼミに入って専門的な視点で教授の方と学べることがとてもいいなと思い、大学進学へのモチベーションが上がりました。 ・大学で学ぶことの楽しさや、平和について多角的に考えることの大切さを実感しました。 	<p>【地域経済】(感想)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元の方と協力したゼミや商品開発のゼミなどがあり、県立大学ならではのものがあるとわかった。 ・興味のあった経済について根本的なところから改めて知ることができてとても良い機会でした。 ・講義は難しいが生徒自身が中心になって行う活動が多く学びに向いていると感じた。
--	---



理系大学コース(水産技術センター、島根大学材料エネルギー学部)

理系大学コースでは、島根県内にある水産技術センターを訪問した後、島根大学の模擬授業を体験しました。専門的な内容に「難しい」と感じつつも「面白い」という声が多く、研究への興味が湧いたようです。



【水産技術センター】

漁業は「獲る」だけでなく、水産資源を守るための調査(シジミの生息数、水質)や、資源管理(漁獲量の計算・調整)がいかに重要なかを理解しました。水産技術センターが研究室や多くの機械を備え、水質管理や資源管理を行っている場所だと初めて知った生徒が多かったです。島根県の特産である「しじみ」の特徴を専門としている方々から直接話を聞いたことで、新たな発見が多くありました。



【島根大学材料エネルギー学部】

材料エネルギー学が、化学や物理などを横断的に学び、生活を支える「縁の下の力持ち」的な分野であること、原子レベルで物事を考える専門性を知りました。高校で学んでいる内容との関連性から「高校の授業内容をしっかり身につけておくことは大事」と再認識し、大学で何を学びたいかを考える良い機会になりました。

看護・医療系コース(出雲医療看護専門学校、島根リハビリテーション学院)



看護・医療系コースでは二つの学校を訪問し、看護師や臨床工学技士といった専門職について、具体的な体験を通して理解を深めました。

【出雲医療看護専門学校】

臨床工学技士が「医療機器を扱う(病気を治す)」仕事であり、栄養士が「病気を予防する」仕事であるなど、それぞれの専門性を学びました。専門学校は一つの資格しか取れないと思っていたが、4つの学科(選択肢)があることや、大学編入の仕組みがあることに驚きの声がありました。

【島根リハビリテーション学院】

理学療法士と作業療法士の役割の違いや、「リハビリ」の概念そのものについても、リハビリを「治らない人を支える」ものだと思っていた生徒が、「リハビリで治せる」と知り、患者に一番近い存在だと感じたという声がありました。「ストレッチ」や「テープニングの貼り方」を体験し、実際に体が柔らかくなったり、能力が向上したりする効果に「とても驚いた」「すごかった」と感動したようです。医療系を志望する生徒たちにとって具体的な進路希望や学習意欲につながる体験となりました。



専門学校コース (坪内総合ビジネスカレッジ・東部技術高)

【坪内総合ビジネスカレッジ】

併設された施設での実践的な学びや、専門分野への具体的な理解に強い関心を持ったようです。生徒の感想を紹介します。

- ・保育園の先生はみんな笑顔が素敵で、話し方が上手だなと思いました。わたしは子供が好きだけど中々上手く一文にまとめられずに説明しそうなのがすごいなと改めて思いました。
- ・実際に犬のブラッシングを体験しました。協力しながらできたので良かったです。自分の担当犬といっしょに登校して授業を受けられるのがとてもいいと思いました。
- ・AIをうまく活用することでもっと道が広がるとわかりました。
- ・ビジネス IT と聞くとパソコンが使えないと思っていましたがパソコンが苦手な人でもできる、それぞれの就職先に合わせたサポートがあり、合った資格の取得ができることがわかりました。



【東部技術校】

体験を通じて、専門技術の「難しさ」と「すごさ」を痛感したようです。感想を紹介します。

- ・美容科に参加しました。内容はパーマの仕方でした。自分は器用な方なので簡単にできるだろうと思っていましたが、いざしてみると意外と難しくてうまく巻くことができずズレたりすることがわかりました。自分がうまくできないたびに美容生の方からアドバイスを貰い、最後の方はうまくすることができました。自分たちの見えないところでたくさんの努力をしてきたのだと感じることができました。将来の職業に限らず、努力を怠らないようにしていこうと思いました。
- ・高齢者の方との向き合い方や、車椅子の基本構造と動かし方について学びました。そして、車椅子を動かしてもらうことで怖さについても身をもって体験しました。
- ・ウェブデザイン学科で少しだけ体験することができました。html など情報の授業でやったことを生かすことができました。
- ・自動車のコースでは数学をたくさん使うことがわかりました。また、授業はグループになって活動することが多いことが分かりました。



公務員コース (坪内総合ビジネスカレッジ・島根県庁)

公務員という職業や、そこに至るまでの学習について深く知ることができたようです。特に公務員試験対策の早期実施の重要性について感じたようです。感想を紹介します。

- ・とても難しい試験を勉強しないと合格できないことがわかりました。
- ・公務員の魅力で安定した給料を得られるのは知っていたけど働き方改革が充実していてプライベートと両立しやすいのは意外だと思いました。公務員試験独学でも受けることができるけど専門学校に行けば確実に学べるし、学んでいる時間が学歴になるのがいいと思いました。
- ・公務員になるためには、とても難しい試験を勉強しないと合格できないことがわかりました
- ・公務員試験までの時間割や年中行事について詳しく知ることができ、興味を持ちました。
- ・働いていくうえで人とのコミュニケーションが大切だと感じた。
- ・施設見学や仕事内容などしっかり聞くことができ県庁で働きたいと思えました。



就職コース (出雲村田製作所・ウェルシティ出雲)

2つの企業を訪問し実際に働いている人の姿や現場の雰囲気を見せていただきました。感想を紹介します。

- ・一番心に残っているのは、「未来はいずれおとずれるものではなく未来は自分でつくるいくもの」ということを聞いて深いと感じました。
- ・自分の仕事に責任を持ってやることが大事だと思いました。



- ・社員一人一人の力が合わさって一つの世界に誇れる製品が作れると感じた。
- ・社会人になるということは、必要な知識を学び続けることやチームの一員として働くことが大切と学びました。

学校・企業説明会（アスパル）

- 全てのコースについて、見学が終わった後「学校企業説明会」を実施しました。一人だいたい3つ程度の企業・学校について説明を聞く時間を持ちました。実際に担当者から話を聞くことで、得られたものもあったようです。
- ・説明していただいた方々が共通して言っておられたことは、パンフレットやネットの情報だけで大学を決めるのではなく、実際にオープンキャンパスなどで見ることが大切だということだった。百聞は一見に如かずだと感じた。
 - ・各大学が大切にしている教育方針や学びの特色を知ることができ、とても参考になりました。特に、先生方が学生一人ひとりの成長を丁寧に支えているという話が印象に残りました。
 - ・これまで漠然としていた進路のことが少し具体的にイメージできるようになりました。特に、自分の興味や得意なことを大切にすることが大事だと聞いて、これから勉強や進路選びの参考にしたいと思いました。
 - ・工業大学と企業の方の話を聞いて大学については私立大学のメリット・デメリットを知ったしどのような科でどんなことをしているのかを教わった。企業では高校からの就職のメリットや専用の短大があることを知って、こういう道もあるのだなと思ってとてもいい経験になった。

全体を通しての感想

- ・大学訪問では、実際に授業を受けることで、教科書だけでは分からず大学の雰囲気や学びの深さを体験できました。自分が本当に学びたい分野を見つめ直すことができました。大学説明会では、大学ごとの特色や方針を知ることができ、自分がどんな学び方をしたいのか、どんな環境が合っているのかを考えるきっかけになりました。今回の体験を通して、自分の将来について考える視野が広がったと思います。
- ・今回の CDP③では、実際に大学訪問や進路説明会を通して、将来の進路についてより具体的に考えることができました。模擬講義を受けたことで、大学での学びの雰囲気を体験でき、自分がどんな環境で学びたいのかをイメージしやすくなりました。また、進路説明会で話を聞き、それぞれの大学の特色や学びの内容の違いを理解できることで、自分に合った進路を考える手がかりが得られました。大学によって重視する分野やサポート体制が異なることを知り、「自分が何を大切にして進学先を選びたいのか」を整理するきっかけになりました。この経験を通して、将来の夢を実現するためには、学ぶ環境や大学の方針をしっかり見極めることが大切だと感じました。今後の進路選択に向けて、より主体的に情報を集め、自分に合った道を選べるようにしたいです。
- ・将来のことがまだ明確に決まっていなかったので今回のお話を聞いて選択肢を増やすことができた。
- ・いろいろな大学のお話を聞けたことで、大学ごとに学べることや雰囲気がぜんぜんちがうことを知ることができ、自分の進路についてもう一度深く考える良い機会になりました。
- ・今回の見学や説明会、大学での体験を通して、自分の将来に対する考え方方が前よりもはっきりしてきました。実際に現場を見たり話を聞いたりすることで、学ぶことや働くことを、より現実的に感じることができ

ました。いろいろ人の話や姿にふれ、自分も将来に向けて努力したいという気持ちが強くなりました。自分の興味を大切にしながら進路を選ぶことの大切さを学び、今後の勉強への意欲にもつながりました。

・進路説明会を通して、将来のためには早めに行動することが大切だと考えました。進学や就職など、選択肢は多くあるけれど、その中で自分が本当にやりたいことを見つけるのは簡単ではありません。だからこそ、今のうちにいろいろな経験をして、自分の可能性を広げていきたいと思いました。

企業・学校訪問は、実際に行かなければ分からぬ「空気感」を味わうことができる貴重な場となりました。それぞれの進路実現に向けて今後も活動していきましょう。1年生は次年度を楽しみにしていてください。